

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 53

21. 7. 25

編集発行
小千谷市議会

☎83-3505



小千谷市民学習センター「楽集館」

旧信濃川テクノ・アカデミー（上ノ山4-4-2）を改装し、平成20年8月に小千谷市民学習センター「楽集館」としてオープンいたしました。

市民学習センターは文化の振興、生涯学習の拠点として多くの皆さんから活用いただく施設です。少人数から100人規模まで、多目的スペースを利用できます。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット中継でもご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

- 第1回臨時会議決結果
第2回臨時会議決結果 …… P 2
- 第2回定例会決議結果 …… P 2～3
- 常任委員会報告 …… P 3
- 一般質問 …… P 3～6
- 議会日誌、雪あかり、編集後記
…………… P 6

— 主な掲載内容 —

平成二十一年小千谷市議会
**第一回臨時会
議決結果**

条例の改正

- 専決処分（小千谷市税条例等の一部改正）（起立多数）
- 専決処分（小千谷市都市計画税条例の一部改正）（全会一致）

- 専決処分（小千谷市国民健康保険税条例の一部改正）（起立多数）

予算の補正

- 専決処分（平成二十年度小千谷市一般会計補正予算（第八号））（全会一致）
- 専決処分（平成二十年度小千谷市介護保険特別会計補正予算（第四号））（全会一致）
- 平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算（第一号）（全会一致）

議会構成等の変更

- ▽議長 風間順一
- ▽副議長 岩淵 清
- ▽総務文教委員会
◎久保田久栄、○山賀一雄、風間健一、田中 淳、柳田宏

- 光、大平 貢、西沢代三
- ▽社会土木委員会

- ◎本田 剛、○吉崎 進、川上直栄、岩淵 清、吉原正幸、横田外一

- ▽産業経済委員会

- ◎中山俊雄、○宮崎悦男、佐藤隆一、駒井富士夫、風間順一、安達 稔

- ▽議会運営委員会

- ◎西沢代三、○駒井富士夫、風間健一、本田 剛、久保田久栄、大平 貢、吉原正幸、安達 稔

- ▽小千谷地域広域事務組合議会議員

- 風間健一、佐藤隆一、山賀一雄、田中 淳、吉崎 進、川上直栄、柳田宏光、駒井富士夫、大平 貢
- ▽長岡地域広域行政組合議会議員

- 宮崎悦男、中山俊雄、風間順一
- ▽魚沼地域特別養護老人ホーム組合議会議員 岩淵 清

- ▽新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員 本田 剛

- ▽農業委員会委員

- 田中 淳、横田外一
- ▽小千谷市監査委員 吉原正幸

- ◎委員長 ○副委員長

平成二十一年小千谷市議会
**第二回臨時会
議決結果**

条例の改正

- 小千谷市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部改正（起立多数）

議長あいさつ



風間 順一
議長

五月十二日に開催されました臨時市議会において、議員各位のご推挙によりまして市議会議長に就任いたしました。

身に余る光栄に存じますとともに、その使命と責任の重大さを痛感いたしておる次第でございます。

本年は、中越大地震五周年を迎えますが、その復興のさなか、アメリカ発の世界的不況が襲ってまいりました。

市も市民も、更なる苦汁を飲まされている現状ではありませんが、地域力の減退を少しでも食

い止め、この難局を打破できるよう、行政とともに議会も頑張っていく所存でございます。

どうぞ、市民のみなさんの絶大なご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、就任のご挨拶といたします。

副議長あいさつ



岩淵 清
副議長

五月十二日の臨時市議会において、副議長に選任され、その職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いであります。

いま本市をとりまく環境は、かつてない厳しい経済不況に伴う諸問題や、人口問題、安心して暮らせる医療や福祉の確保等、大きな課題が山積していると認識しております。

もとより浅学非才な身ではありますが、議長を補佐して円滑なる議会運営と市民福祉の向上に渾身の努力を傾注する所存でありますので、市民各位よりご指導とご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

平成二十一年小千谷市議会
**第二回定例会
議決結果**

条例の改正

- 小千谷市子どもの医療費助成に関する条例の一部改正（全会一致）
- 小千谷市農村地域工業等導入地区工場等設置奨励条例の一部改正（全会一致）

予算の補正

- 平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算（第二号）（全会一致）
- 平成二十一年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）（全会一致）
- 平成二十一年度小千谷市ガス事業会計補正予算（第一号）（全会一致）

その他

- 魚沼地域胃集団検診協議会規約の変更（全会一致）
- 小千谷市公平委員会委員の選任（起立全員）
- 人権擁護委員候補者の推薦（起立全員）
- 三十人以下学級の実現、義務

教育費国庫負担制度の国庫負担率二分の一復元をはじめとする教育予算の充実を求める
請願
(全会一致)

○認定こども園開設に伴う市立保育園の定員見直しを求める
請願
(起立少数)

発議

○三十人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率二分の一復元をはじめとする教育予算の充実を求める
意見書
(全会一致)

三常任委員会報告

総務文教委員会



久保田 久栄
委員長

本委員会に付託されました案件は、議案第五十四号及び請願第二号の二件でありました。

審査は、六月十日及び十一日に開催し、平成二十一年度一般会計補正予算(第二号)については、社会土木委員会及び産業経済委員会との三常任委員会の連合審査会といたしました。

○平成二十一年度小千谷市一般会計補正予算(第二号)については、主として、新たに国等の補助事業採択がなされたもの及び緊急を要するもの等について予算補正をし、歳入歳出それぞれ九百八十二万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ百七十二億六千四百九十二万三千円としたとするものであります。全員異議なく可決すべきものと決しました。

○請願については、三十人以下学級の実現と教育予算の充実を求める意見書を関係行政機関に提出していただきたい、とするものであります。起立多数で採択すべきものと決しました。

○認定こども園開設に伴う市立保育園の定員見直しを求める請願については、認定こども園開設に伴う市立保育園の定員見直しに当っては、市内全域の定員を調整し、さくら保育園はこれまで同様継続していただきたいというものであります。認定こども園には反対だが請願者の意見に賛成する。幼保一元化は、これからの子どもにとって重要である等の意見や、説明時期、コミュニケーションの不足等により双方に不信感が生じたもの

○小千谷市子どもの医療費助成

社会土木委員会



本田 剛
委員長

本委員会に付託されました案件は、議案二件及び請願一件でありました。各議案とも慎重に審査し議案二件は原案とお可決、認定すべきものと決し、請願一件については不採択とすべきと決しました。

○平成二十一年度小千谷市国民健康保険特別会計補正予算(第一号)については、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ五千九百九万三千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ三十六億八千八百九十一万八千円とするものであります。審査の過程では国保会計の今後の見込み等について質疑が交わされました。

○認定こども園開設に伴う市立保育園の定員見直しを求める請願については、認定こども園開設に伴う市立保育園の定員見直しに当っては、市内全域の定員を調整し、さくら保育園はこれまで同様継続していただきたいというものであります。認定こども園には反対だが請願者の意見に賛成する。幼保一元化は、これからの子どもにとって重要である等の意見や、説明時期、コミュニケーションの不足等により双方に不信感が生じたもの

○小千谷市農村地域工業等導入地区工場等設置奨励条例の一部を改正する条例の制定については、中越三市産業活性化基本計画による重点促進区域に企業が立地する際の優遇施策を講じ、あわせて小千谷市工場設置奨励条例による奨励金に関する規定を統合し、題名を改めたいとするものであります。

○平成二十一年度小千谷市ガス事業会計補正予算については、国産ガスに輸入ガスを混合しているガス料金に、原料費調整制度の導入が認められたことに伴い、新価格体系に対応するための経費の増額による補正であります。

産業経済委員会



中山 俊雄
委員長

本委員会に付託されました議案二件を慎重に審査をし、原案のとおり可決すべきものと決しました。

○小千谷市農村地域工業等導入地区工場等設置奨励条例の一部を改正する条例の制定については、中越三市産業活性化基本計画による重点促進区域に企業が立地する際の優遇施策を講じ、あわせて小千谷市工場設置奨励条例による奨励金に関する規定を統合し、題名を改めたいとするものであります。

○平成二十一年度小千谷市ガス事業会計補正予算については、国産ガスに輸入ガスを混合しているガス料金に、原料費調整制度の導入が認められたことに伴い、新価格体系に対応するための経費の増額による補正であります。

市政の内容を聞く

一般質問

定住自立圏構想への
取組みについて

大平 貢 議員

質問

①長岡市を中心市とする当市も含む圏域の定住自立圏構想は妥当と考えるか。当市が期待するところ、担う役割は。

②長岡市と圏域市町村の協議はどの位進んでいるか。

③長岡市の中心市宣言はなされたのか。

④今後の当市の「議会議決」と市民周知のスケジュールは。

⑤川口町と長岡市の合併は実現すると考えるか。

⑥推進要綱にもあるが、ごみ処理、し尿処理、消防などの連携は当市にもメリット大。事務組合の合併まで進めては。

⑦国・県からどのような支援が受けられるのか。

答弁 ①定住自立圏構想は、中心

市と周辺市町村が一对一の協定を締結し形成される圏域において、互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化とともに人口流出を防ぎ定住化を図ることを目的とします。長岡地域広域行政圏域であり、妥当と考え長岡市と協議を進める。

②各市町の担当課長及び担当者等で構成する連絡調整会議が開催され具体的な検討に入った。

③三月二日に中心市宣言がなされた。

④九月定例会で条例を、十二月定例会で協定締結の議決を、となる予定。市民周知は市報おぢや等で行っていききたい。

⑤私が言及すべきでないと思う。

⑥仮に川口町が長岡市と合併した場合にも、現在の事務組合に近い形で継続できるように、市長・町長にはお願いしている。

⑦構想推進要綱に基づき、関係各省による支援策の通知があった。当市のメリットを考えながら、施策を長岡市と検討する。

国保税の見直しと ひばり「認定こども 園」中止を

風問 健一 議員

《国保税の見直し》

質問 世界経済危機のもとで市民

の暮らしは深刻で高い国保税が家計を圧迫しています。市は「市の国保税が県内他市と比べ高いのは認める。六月頃になれば医療費の趨勢がわかるので見直したい」と回答しているが、国保税を見直して、大幅な引き下げを行って頂きたい。

答弁 H二十一年度に保険税率の検討を行う予定。

《認定こども園》

現行の公的保育制度は、児童福祉法で市町村の保育実施義務を定め、公的責任を明確にしています。運営や施設などの最低基準を定め、自治体の公費負担義務が決められています。各保育園は同じサービスを提供し、保護者が保育料を滞納しても退園させることはできません。他方「認定こども園」の入所は、施設と利用者の直接契約であり、保育料の設定・徴収も施設の責任で行われます。選考、保育料の決定という公的保育制度の根幹において市町村が関わられなくなります。

質問 将来ひばり認定こども園が英語教室などを設け、市の保育料を超える保育料を定めた場合、市長は保育料の変更を求めるのか。

答弁 保育料の内容を検討して決める。

質問 保護者が保育料を滞納した場合、子どもを退園させることが

法的に可能だが、その場合はどのように対応するのか。

答弁 滞納しないよう保護者の指導が第一義です。

質問 現行の公的保育制度の拡充こそ必要です。ひばり認定こども園開設とさくら保育園の廃園を中止して頂きたい。

答弁 認定こども園の開設もさくら保育園の閉園も中止しません。

佐平治翁映画化と 学力テストのことで

西沢 代三 議員

質問 天保三年の大飢饉に片貝町佐藤佐平治翁が、津南町秋山郷の人々を救援した慈善活動は有名である。特に結東村では翁の顕彰碑を建立、佐平治まつりも続いている。さらに地元では「佐平治の心を今の世に・映画をつくる会」を発足、二十二年に上映（監督岡村精）の運びという。小千谷の名誉であり物心両面から制作に協力すべきであると思う。



「長岡藩の米百表」の内容にも勝る偉業であり称えられている。

答弁 「佐藤佐平治の映画実行委員会」が、津南町と片貝町関係者により、平成二十年度に組織され

たとのことであります。制作費は二億円以上で資金カンパを広く呼びかけております。推移を見守りながら検討したいと思いますが、社会教育の面からも期待します。

質問 全国学力テストの市町村別結果の活用についてであるが、新潟県では二十市中、十一市が公表するとのことであり公表する自治体が増えている。

小千谷市は非公表の方に色分けされている。教育行政の変化が顕著な時代である。その方針に変化はないのか、教育委員会としての見解はどうか。

教育長答弁 表面的な数値だけが公表されることによる弊害が大きいと思われると思います。また、学習改善や個別指導に生かしていることも判りました。話し合いの結果公表しないことにしました。問い合わせがあれば結果の概要について説明することにしております。地域に根ざした特色のある学校づくりを推進したいと思っております。

JR東日本の 違法取水問題の 関連について

田中 淳 議員

質問 ①違法水量とその度合いについて当市としての認識は。

②当市としてJRに対し抗議や補償等について③梅雨時期での増水対応についての考えは④JR東日本が行っているデステイネーションキャンペーンについて⑤西小千谷地区流雪溝の取水について⑥この問題での当市の所管部署は何処になるのか。

答弁 ①最大使用水量は毎秒、小千谷発電所が三百m³、新小千谷発電所は二百二十m³とされているが実際の使用水量、数値は公表されていない。市としては水量の多少に関わらず、違法は違法であり地域住民の信頼を裏切る行為で、真に遺憾であるとの認識です。

②河川法第二三条による流水の占用許可の再申請にあたり、当市及び関係水利使用者と必ず事前協議をする事とし。さらに、一連の不適切取水及び不適切維持流量は、真に遺憾であり直ちに是正し、水利使用に関する内容を適正に履行するよう強く文書で要請した。

③今年度の取水期にあつては、宮中取水ダムから小千谷発電所まで電所までの間で、その効果と実効性を判断した上で、



宮中取水口から発電取水を行うよう協力要請することもあり得ると信濃川河川事務所から回答を頂いた。

④これからも、本市の記事が多く、また大きく紹介されるようJR東日本と県観光協会等に対し、積極的に情報の提供をしていく。

⑤ 流雪溝用水の取水については、調整池の貯水状況に関わらず、取水については支障がないと考えている。

⑥ 現在総務課を窓口として関係課が連絡をとりながら対応している。

大不況下の市政について

駒井 富士夫 議員

質問 世界不況の荒波は、本市を代表する三洋半導体の人員削減、パナソニックの小千谷撤退と直撃した。大量失業者は果して求職先があるのかと不安は増大している。この不況の中、市民の視線はどの様な市政が執行されるのか注目されている。市長の考えを質します。

答弁 緊急経済対策として、約四十億円の緊急融資策を始め、緊急雇用創出事業等を予算に計上して雇用の維持に努めたが、残念ながら失業者が出ており、今後も増加

が予想される。

優秀な人材確保のため市内企業が積極的な採用に努めていただくようハローワークや商工会議所を通じて、引き続き要請していく。

質問 再就職の支援について、新潟市等で短期雇用施策が報道されたり、介護対象訓練事業や様々な支援事業が行なわれているが、当市はどうか。

答弁 当市においても、国の緊急経済対策としての「ふるさと雇用再生事業」「緊急雇用創出事業」を活用し、離職者の就業機会を創出しているところである。ハローワーク小千谷の有効求人倍率は、四月で〇・三八倍で大変厳しい情勢です。

質問 不況下で財源が減少する中でセーフティネット保持について。
答弁 生活保護の適正な運用、無料法律相談及び健康センターにおける「こころの相談」など実施するほか、社会福祉資金貸付制度の活用等市民の不安解消に取り組む

さくら保育園の閉園、その他について

川上 直栄 議員

質問 ①市長宛に請願書が出されたことをどう受け止めているか。②閉園せずに認定子ども園の認可を受ける方法は無いのか。③事前

説明が無かったのはなぜか。そのことが行政への不信感を招いたとは



思わないか。④認定子ども園について今後の方針を示して市民的議論をする必要があるのではないか。

答弁 ①保護者の心情を考慮し、二年間は暫定的に存続、維持して行きたい。②少子化が進んでおり、現在の保育園の定員をそのままにして認定子ども園を開設しても、地区全体として定員を大きく割り込むため、費用対効果からいかなものかと思う。③開設者側の意思の確認とその事業の実現性が確認できたのが昨年十二月であり、関係者への説明を本年一月二十日以降行っている。④条件を整えながら増やしていくことは重要な施策と考えており、今後とも議会を通じて市民的議論は可能と考える。

質問 クラインガルテンふれあいの里について①二年を経過しての実績評価は。②解決すべき問題は無いか。③将来展望は。
答弁 ①全体として大いに評価でき

きるものと考



えてい。②直ちに解決すべき大きな問題は無い。③

更なる交流の輪が広がり活性化に繋げたい。当市への定住に繋がるよう努力したい。
質問 ゴミ処理有料化に伴う不法投棄の根絶について、積極的な対策を。
答弁 不法投棄はモラルの欠如が根本的な原因であり、捨てる人の意識改革と市民の協力が不可欠。市報等で啓発を行う。

校庭の芝生化について

安達 稔 議員

質問 全国会において成立した補正予算「スクール・ニューディール」構想は事業規模一兆円。文科省は学校の耐震化、太陽光パネルの設置などのエコ化、パソコンや電子黒板など情報通信技術環境の整備、温暖化防止と教育的効果から校庭の芝生化を進めるとしている。この校庭の芝生化であるが子

どもは土の上では無意識に転倒を恐れ、能力を最大限発揮できないものとされる。しかし、コストがネックで芝生化は進まずにいた。ここに来て、鳥取方式といわれる

ディフロン種を使う簡単な方式が急速に広まっている。初期費用も経済危機対策として国費でやれる。そこで三点ほど伺う。①今回の「スクール・ニューディール」構想はどのよう把握されているのか。

②校庭の芝生化における「鳥取方式」はどのように把握されておりますか。③学校現場の環境対策、児童・生徒の健康対策としての校庭の芝生化について教育長の見解は。
教育長答弁 ①国の追加経済危機対策の一環で文科省が重要施策に位置付けている構想で議員の説明のとおりです。②従来の芝生化という、高麗芝を一面に敷き詰めたイメージを持っていたが、鳥取方式の芝生化は、ディフロン種の苗を三十センチから五十センチ間隔で植え、自然繁殖させるものであることが分かった。③今回の、スクール・ニューディール構想により校庭を芝生化すれば、それにかかる初期費用は国費でまかなわれ、市費のもちだしはありません。鳥取方式なら維持管理費も軽減できることが分かった。取り組める場所を選んで検討したい。

スクール・ニューデール、消費者庁設置に伴う窓口体制について

佐藤 隆一 議員

【質問】 今後三年間にわたって学校

や公共施設に耐震補強工事・太陽光発電施設設備・IT環境の整備を進めるといふスクール・ニューデール施策について質問します。

①制度の説明会の内容は。②推進体制は。③施策に対する小千谷市の見解は。④具体的な計画は。⑤施策の推進を通じてどのように設備の活用を進めるか。⑥太陽光発電施設に補助制度新設の考えは。

【答弁】 ①六月三日新潟でIT環境

整備、教材・図書緊急整備の説明がありました。②市町村において「推進会議」設置の必要はない。③市費の持ち出しなしで事業を実施できるが更新時の国の支援が期待できない。内容を精査し事業要望したい。④学校の耐震補強、教育用パソコン更新、電子黒板の整備を検討中です。⑤PCや電子黒板の活用で情報収集、多様な発想を促したい。⑥新潟県は年間日照時間が二十％少ないのがネックとされ、県でも検討中です。慎重に検証し、導入について検討したい。

【質問】 消費者庁に関連し、自治体窓口業務について質問します。①



消費者庁

政の現状は。②県との連携体制は。

③窓口はどう強化されるか。

④震災と景気急減速で業務の見通しと対策は。

【答弁】 ①週二回専門相談員が対応

し、昨年三十九件の相談がありました。②窓口開設時に相談員の県での実地研修や市窓口での現場指導をいただいた。③専門研修会への参加や啓発パンフレットの購入、第一相談室の防音改修を実施したい。④多重債務相談は日十九・二十は六件日二十一は一件で推移している。複雑な問題は県弁護士会を紹介している。

議会日誌

4月～6月

＜4月＞

- 8日 議会報編集委員会
- 9日 県市議会議長会春季定期総会（見附市）
- 13日 議会運営委員会
- 14日 議会報編集委員会
- 21日 北信越市議会議長会評議員会（福井市）
- 22日 北信越市議会議長会定期総会（福井市）

＜5月＞

- 1日 議会運営委員会
- 11日 会派代表者会議
- 12日 第一回臨時議会
- 13日 三常任委員会
- 13日 議会運営委員会
- 22日 県特別豪雪地帯市町村議会協議会理事会・定期総会（小千谷市）
- 25日 議会運営委員会
- 26日 産業経済委員協議会
- 27日 全国市議会議長会定期総会（東京都）
- 29日 第二回臨時議会
- 29日 総務文教委員会

＜6月＞

- 2日 議会運営委員会
- 9日 第二回定例会（本会議）
- 9日 議会報編集委員会
- 10日 三常任委員会連合審査会
- 11日 総務文教委員会・協議会
- 12日 社会土木委員会
- 12日 東小千谷地区信濃川右岸堤防見学
- 15日 産業経済委員会・協議会
- 19日 愛知県豊川市議会行政視察に来市
- 23日 議会運営委員会
- 23日 本会議（第二日）
- 24日 本会議（第三日）
- 24日 議会報編集委員会
- ” JR信濃川発電所見学

- 26日 議会運営委員会
- ” 本会議（第四日）
- ” 議員全員協議会・クラブ会
- 30日 会派代表者会議



川上 東陽 (鴻巣)

去る六月の最週末、梅雨がなくこの時期さわやかと言われる北海道を旅行した。

いづれも二、三泊の行程であるが、これで三度目である。

初回は「はるばる来たぜ函館」てな具合で道南であった。

二回目が東北部で根室・納沙布・知床方面を回った。初めて見る手が届きそうな北方諸島、固有の領土といえながら、なんと解決に時間を要することか。

今回は視察勉強を意図して、道央・旭川地域を中心とする穀倉地帯を九名で旅した。視察先の土地改良区事務所では、パソコンを駆使しての広域土地状況把握等、先進的取組について貴重な勉強をさせていただいた。幸いなことに天

候にも恵まれ、気温は連日三十度前後を記録したが、木陰では北海道ならではの爽やかさを体感できた。また毎々感ずることは、北海道は広いこと。なれど世の中狭い。層雲峡散策中、奇遇にも片貝の知人Oさん夫妻にバッタリ。思い出を増した。

噂の旭山動物園にも立ち寄った。ここも大盛況。ラベンダー等の花施設とともに不況どこ吹く風の様子と見え、今年の北海道は例年に増しての賑わいとのこと。小千谷観光へのヒントはないものか。孫に所望された生キャラメルも入手できてホッ。

旅帰り
先ずのオーダー
旬の漬



編集後記

任期の半分が過ぎました。編集委員も若干変わりました。今後も精一杯頑張ります。

新議会報編集委員です。

- 編集委員長 吉崎 進
- 編集副委員長 宮崎 悦男
- 委員 本田 剛
- 委員 本間 健一
- 委員 風間 健一
- 委員 佐藤 隆一
- 委員 山賀 一雄